



被爆アオギリ二世を植樹する生徒代表の2人(上)、校内の渡り廊下には、平和を願う横幕を掲げた(下)



平和のシンボルにと植樹

総社中学校の広島平和学習

総社中学校の2年生は6月12日、平和について学ぶ「広島平和学習」のため、広島市の平和公園を訪ねました。そのとき、同公園から譲り受けた「被爆アオギリ二世」の苗木を6月25日、校庭に植樹しました。

生徒2人が、土を寄せたり水を掛けたりしてアオギリを植樹。式に参加した2年生102人は、生徒代表の「戦争のない平和な社会のシンボルツリーとして、大きく大切に育てたい」との言葉を心に刻んでいました。

被爆アオギリ二世は、爆心地近くで原爆の爆風に耐え、今日まで生き続けているアオギリの木の種が芽吹いたもの。このアオギリは毎年種をつけ、人々に生きる勇気を与えています。



消防長からクラブ旗を受け取る婦人防火クラブの人たち

一気に11クラブが発足

婦人防火クラブ

婦人防火クラブ結成式が7月1日、消防庁舎で開かれ、新たに誕生した11クラブに認定証や法被、クラブ旗などが、大角消防長から手渡されました。

結成されたのは、総社・常盤・服部・阿曾・池田・神在・久代・新本・日美・水内・清音の11クラブ。市内のクラブ数は13に、クラブ員数は約1200人になりました。消防長は、「一挙に11クラブが誕生し、防災面で力強く思います。安全・安心が強化されると確信しています」と、出席した約40人のクラブ員に話しました。

ミニフォト

上水道課と下水道課 清音支所へ



看板を設置する市長と議長ら

清音支所に上水道課と下水道課が6月29日移転し、業務を開始しました。移転セレモニーには地域住民ら約60人が出席。「総社市水道部」の看板を設置し、新たなスタートを祝いました。移転を機に、地域の活性化も期待されています。

ドッジボールで交流



子どもたちの歓声が響く

市学童保育連絡協議会主催のドッジボール大会が6月27日、常盤小学校で開かれました。市内の学童保育に通う約150人が参加。保護者や指導員からの大きな声援を受け、子どもたちは元気いっぱいゲームを楽しんでいました。

お話や折り紙を楽しむ



パネルシアターを楽しむ

7月4日、市図書館で納涼まつりが開かれ、親子連れ約40人が参加。ボランティアや職員がするストーリーテリングやパネルシアター、折り紙を、子どもたちは楽しみました。また、織姫と彦星の七夕のお話にも聞き入っていました。



赤米の田植えを体験するこどもたち

地域を知る活動

新本小学校

赤米の田植えが6月17日、新本の本庄国司神社の神田で行われました。新本赤米保存会のメンバーの指導を受けながら、新本小学校の5年生18人が田植え綱に沿って苗をていねいに植えていました。

同小では6月27日、ふるさと新本歩いて見よう会が開かれ、親子連れら約40人が参加。荒神様や義民ゆかりの地を、郷土史に詳しい地元の人々の説明を聞きながら歩いて回りました。



身近な場所を訪ね歩く参加者たち

犯罪や非行のないまちに



玄関前で行われた出発式

犯罪や非行のないまちにと、社会を明るくする運動の出発式が7月1日、市役所で行われました。式には、総社地区保護司会、総社地区更生保護女性会の人ら約40人が出席。式後には、広報活動のため、車で市内を巡回しました。

イモ掘りで農業体験



イモ掘りを楽しむ参加者

子育て王国そうじゃ実行委員会のメンバーの3団体が共同で企画した農業体験が6月27日、久代地内で開かれました。親子連れら約100人が参加。参加者は、袋いっぱいになるほどのジャガイモの収穫を楽しんでいました。

地域市長室 昭和からスタート



昭和出張所で面談中の市長

山手・清音の各支所と昭和出張所に、市長が定期的に出勤する地域市長室。その初回が7月9日、昭和出張所で行われました。市長は、訪れた人たちから、地域の実情や課題などを聞き、まちづくりに生かしたいと話しました。



カメラ
フォトニュース
まちの話題



立石さん(左端)から石造物に刻まれた文字の判読方法を学ぶ参加者

西部地区でも調査が始まる

石仏・石造物講座

清音や昭和地区で行われた石仏・石造物の調査が西部地区でも始まりました。この調査は西公民館の講座として実施。約20人の講座生は6月25日、久代地内の石造物を使い、講師の岡山民俗学会名誉理事の立石憲利さん(井尻野)から調査のポイントやこつを学びました。報告書は、来年夏の完成予定。